

和算で遊ぼう！

三春まちなか寺子屋



龍穩院所蔵

日本独自の数学「和算（わさん）」とは…？

江戸時代、日本では数学が飛躍的に進歩し、西洋と肩を並べるほどの発展を遂げた。和算と云えば、関孝和が知られているが、東北地方では、関流とは違う和算が発達した。

佐久間庸軒は佐久間派の開祖として三春藩藩校「明德堂」で算学を教え、2000名の門弟を教えた優れた和算家である。

数学者や数学愛好家は、難問を解くことに成功すると、神社や寺に算額を奉納するようになった。問題が解けたことを神仏に感謝し、自分の業績を世に知らしめたのだ。時には、問題だけを書いた算額を奉納して、ライバルに挑戦状をたたきつけることもあった。数学好きは算額を見て回り、難問に挑戦しては腕を磨いた。数学をこよなく愛する江戸時代の日本人にとって、神社仏閣が知的格闘技の聖地でもあったのである。

年12回シリーズ開催決定！

参加者募集中！

町内神社仏閣の算額巡り＋和算遊び手習い

平成29年1月～12月 毎月1回開催（第2土曜日）2時間程度

講師：^{ごわ きょういち}五輪教一氏(元・福島県立高校教諭。日本数学協会。福島県和算研究保存会会員)

参加費：大人10,000円/12回分、高校生以下3,000円/12回分

※空きがある場合のみ 参加費：大人1,000円/1回、高校生以下300円/1回

集合場所：自然観察ステーション（駐車場：三春の里田園生活館）

集合時間：10時00分

募集人員：40名

*年12回シリーズ参加の方には、和算ペンダントをプレゼント！



お申込み・お問い合わせ
（株）三春まちづくり公社/観光部 0247-62-3690